

読賣新聞

オンライン YOL

新潟のニュース 鷺流狂言を住民が上演 佐渡の大膳神社

2024/04/19 05:



能舞台上で上演された鷺流狂言(18日、佐渡市竹田の大膳神社で) 県無形文化財の「佐渡鷺流狂言」が18日、佐渡島最古とされる能舞台がある大膳神社(佐渡市竹田)の例祭で奉納された。鷺流狂言は江戸時代初期に始まり、大蔵流と和泉流とともに3大流派とされた。現在は佐渡市と山口市、佐賀県神埼市の3地域で地元の保存団体が継承している。この日は、佐渡市真野地区の住民らでつくる「佐渡鷺流狂言研究会」のメンバーが、主人からお使いを頼まれた召し使いが、足のしびれで動けないとうそをつく「痺(しびり)」を演じた。

狂言の後は、「真野能楽会」による仕舞などが奉納された。「北陸応援割」で佐渡を訪れたという長野県塩尻市の男性(73)は「地域の方々が鍛錬して演じているのはすごい」と感心していた。